

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2020-22960
(P2020-22960A)

(43) 公開日 令和2年2月13日(2020.2.13)

(51) Int. Cl. F I テーマコード (参考)
B 0 9 B 3 / 0 0 (2006.01) B 0 9 B 3 / 0 0 3 0 4 Z 4 D 0 0 4
 B 0 9 B 3 / 0 0 Z A B

審査請求 未請求 請求項の数 13 O L (全 30 頁)

<p>(21) 出願番号 特願2019-140593 (P2019-140593) (22) 出願日 令和1年7月31日 (2019.7.31) (31) 優先権主張番号 特願2018-144079 (P2018-144079) (32) 優先日 平成30年7月31日 (2018.7.31) (33) 優先権主張国・地域又は機関 日本国 (JP)</p>	<p>(71) 出願人 598015084 学校法人福岡大学 福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号 (74) 代理人 100099508 弁理士 加藤 久 (74) 代理人 100182567 弁理士 遠坂 啓太 (74) 代理人 100197642 弁理士 南瀬 透 (72) 発明者 武下 俊宏 福岡県福岡市城南区七隈八丁目19番1号 学校法人福岡大学内 Fターム(参考) 4D004 AA16 AA31 BB02 BB03 CA34 CA48 CB46 CC03 CC11 CC15</p>
---	--

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 石膏含有廃棄物からの硫化水素の発生抑制方法、および、石膏含有廃棄物処理設備、ならびに、石膏含有廃棄物からの硫化水素の発生抑制に用いられるための水溶液

(57) 【要約】

【課題】 石膏含有廃棄物からの硫化水素の発生を抑制する方法を提供する。また、硫化水素の発生を抑制可能な石膏含有廃棄物処理設備を提供する。

【解決手段】 石膏含有廃棄物 10 a と可溶性塩水溶液 1 1 とを接触させる接触工程を有する、石膏含有廃棄物からの硫化水素の発生抑制方法。また、石膏含有廃棄物 10 a と可溶性塩水溶液 1 1 とを接触させるための処理部である埋立地 2 と、埋立地 2 において石膏含有廃棄物 10 a に可溶性塩水溶液 1 1 を供給する塩水供給手段 3 B と、を有する石膏含有廃棄物処理設備。また、可溶性塩水溶液 1 1 の代わりにチオ尿素様物質を含有する水溶液を用いて同様に硫化水素の発生を抑制することができる。

【選択図】 図 6

